



文科省は2月10日、「令和6年の児童生徒の自殺者数（暫定値）の公表を踏まえた児童生徒の自殺予防に係る取組の強化について（通知）」を出し、自殺予防の第一に「1人1台端末等を活用した心の健康観察」を挙げました。以前であれば方途の3番目にある「学級担任や養護教諭等を中心としたきめ細やかな健康観察や教育相談」が最初に挙げられるところですが、配付した端末の利用成果を出さねばならないためか、ICT活用が最初に挙げられていました。心を AI の判断にゆだねることが推進されていくのではと不安になります。折しもニュースでは LINE チャットで AI キャラクターに日々相談し、依存状態となっている若い女性が紹介され、アメリカでは、AI とのチャットに依存した少年が自死したり、AI に両親の殺害を示唆された事件で AI チャットボット運営会社への訴訟も起こったりしています。デジタル機器をツールとして活用していくことは有用な面もあると言えるでしょう。しかし、使用が目的化されていないか、また、使用が優先され、子どもと向き合うことなど大切にしてきたものがないがし、蔑ろにされていないかを問い続けることが大切です。

## 尹東柱に同志社大学が名誉文化博士号授与

「死ぬ日まで天をあおぎ／一点の恥じ入ることもないことを」から始まる詩集「空と風と星と詩」で知られた詩人尹東柱ユンドンジュが、ハングルで詩を書いたことで抗日思想犯として京都で逮捕され、その後、福岡刑務所で27歳で獄死してから80年。命日の2月16日に彼が在籍していた同志社大学は、在学中に逮捕され、その後獄死した彼を守れなかった自責の念が込められた特別な決定とし、名誉文化博士の学位を授与しました。学内には彼の詩碑もあり、多くの人を訪れる場所となっています。

### 夫婦別姓の議論の行方は？

石破総理は1月末に自民党内の意見集約に向け「議論の頻度を上げ熟度を高める」と言っていますが、「保守派」の抵抗は大きく遅々として進まない夫婦別姓論議。家族社会学者の落合恵美子さんは、そもそも日本は別姓で、中国の律令制度の影響で父系制的な考えが流入し、また、拡大家族だった日本の家族をGHQが核家族単位にまとめ、同姓を推し進めたと言っています。つまり、日本の「保守派」は「中国化」で父系制となり、GHQの考えで核家族化した名前の歴史を守ろうとしており、日本の伝統を守っていないと指摘（YouTube「ハテナの探求夫婦別姓」で検索）。今国会での議論の行方を注目です。



教職員組合の世界組織 Education International(EI)のLGBTI+ネットワークに加盟する国内ネットワークがJTUにできました！詳しくはチラシを見てください！